

## モチベーション

世界的に環境負荷低減の取組が加速する中、自動車材料の資源循環型への転換がより強く求められています。2023年7月にEUが公表したELV (End-of-Life Vehicles) 規則では、新車のプラスチックの25%をリサイクル素材とし、その内25%を廃自動車由来とする等の規制強化が提案され、廃プラ材料のリサイクル研究開発がますます進みつつあります。サーマルリサイクルに留まっている自動車破碎残渣 (ASR) を含めて廃プラ材料を自動車部品に再利用するためには、材料、構造、工法、設計に及ぶシステムとしての解決技術が求められます。

## 研究開発コンセプト&テーマ

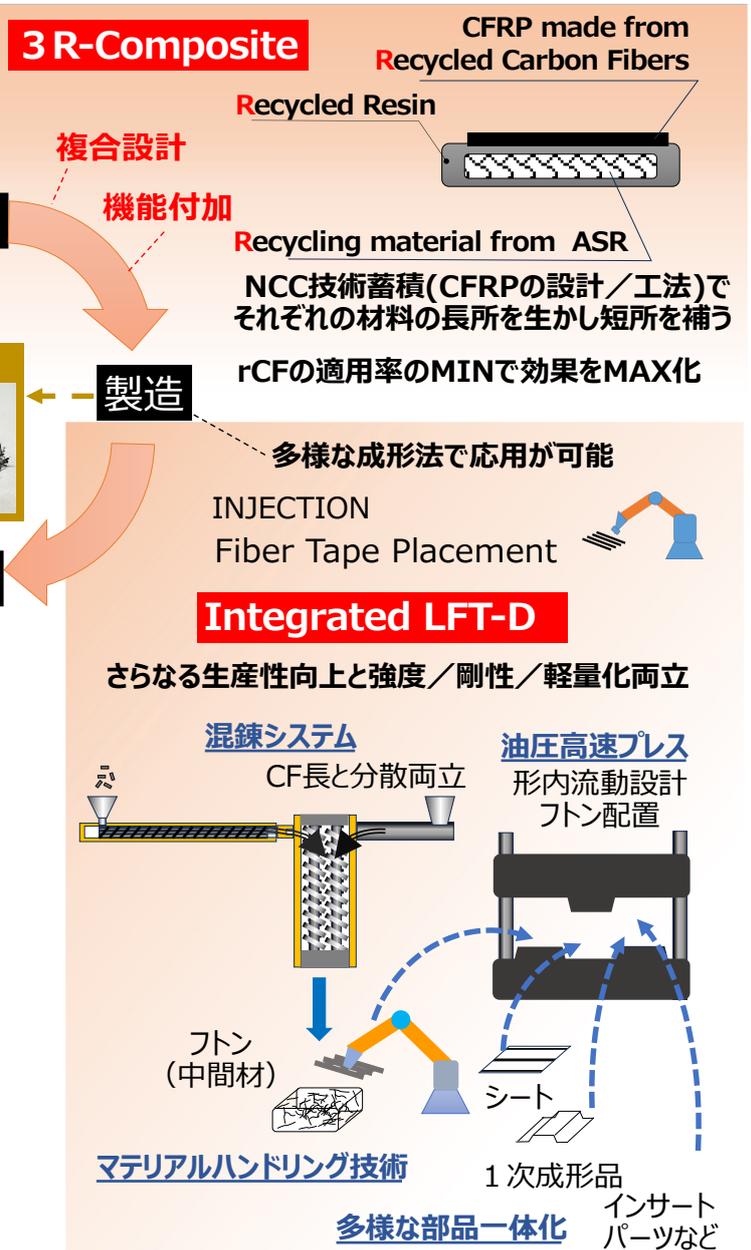
NCCがこれまで蓄積したコンポジット研究資産を生かすとともに、参加企業の固有技術も含めコンソーシアム体制で技術融合し、研究開発を進めています。本プロジェクトでは、①ASR再生材料②再生樹脂③低炭素なりサイクル炭素繊維(rCF)を組み合わせて、機能的に活用するため、**3 R-Composite**コンセプトを掲げて活動しています。この技術は、多様な成形法への応用が可能であり、ASRを含めた樹脂リサイクル技術の核となるものです。また、工法においても **Integrated LFT-D**としてさらなる生産性向上と構造性能/軽量化の両立を目指しております。

### 静脈側



残渣 (ASR) 含め資源として利用し車の部品材料として活用

### 動脈側



## コンソーシアム体制

13社と名古屋大学NCC・岐阜大学GCCで展開

